

# 第70回 健康公開講座

## 薬の飲みかた・使いかた！

財団法人 防府消化器病センター

顧問 内科 岡崎 幸紀

薬剤師 手山 三十鈴 (薬剤師部長)

藤田 敬介, 酒井 康子, 黒田 一幸, 竹本 理恵

開催日：平成22年3月8日（月） 午後7時～

会場：防府市地域交流センター

財団法人 防府消化器病センター 公益事業部

〒747-0801 山口県防府市駅南町14-33

TEL 0835-25-8707

E-mail info@hofu-icho.or.jp http://www.hofu-icho.or.jp

## くすりの種類

### 内用薬

錠剤      カプセル剤  
散剤      液剤

### 注射薬

### 外用薬

軟膏剤・クリーム剤・ローション剤  
坐薬   貼付薬   吸入薬  
点眼薬・点鼻薬・点耳薬

2

## なぜ!?

薬はコップ1杯の水又はぬるま湯で  
飲みましょう



薬がのどや食道に長くとまったまま  
になると・・・  
潰瘍になるおそれあり!!

3

## 薬を飲み忘れてしまった!

- 基本的には気がついた時に飲む
- 次に飲む時間が近づいている時は1回分とばす
- 1度に2回分飲まない
- 1日1回飲む薬も増えている

4

## 薬の保管方法

- 高温、多湿、直射日光を避ける
- 子供の手が届かない場所に置く
- 冷蔵庫での保管や遮光が必要な場合もある

5

## グレープフルーツと医薬品の飲み合わせ ①

グレープフルーツ



+



= ?

答え

薬の種類によっては、グレープフルーツと一緒にとってしまうと、薬の作用や副作用が強くなる場合があります。

6

## 副作用とは

病気の治療に役立たない作用、あるいは有害な反応のこと

7

## 副作用のでかた

薬によりことなり、1つの薬にも様々な副作用があります。

副作用の出やすい方としては・・・

- アレルギー体質の方
- 肝臓・腎臓の悪い方
- 高齢者の方



当然多く飲みすぎれば副作用は出やすく!

8

## 代表的な副作用

- ・鎮痛剤：胃腸障害・腎障害・肝障害・過敏症
- ・胃腸薬：喉の渇き・眠気
- ・精神安定剤：ふらつき・めまい・妄想
- ・抗ヒスタミン薬：眠気・頭痛・発疹
- ・利尿剤：脱水症状・疲労感・起立性低血圧
- ・抗生剤：過敏症・胃腸障害・腎障害・難聴

9

また、薬によって服用するとそのものの性質により尿や便の色が変化するものも・・・

### ◎尿

- ・ビタミンB2(リボフラビン)  
黄色
- ・潰瘍性大腸炎治療・抗リウマチ剤(サラゾスルファピリジン)  
黄赤色
- ・下剤(センナ)  
黄褐～赤色(尿がアルカリの時)

### ◎便

- ・鉄剤 黒色便

などなど・・・

10

## 副作用かなと思ったら

すぐに受診するか医師と連絡をとる様にして下さい。

副作用も『早期発見』が重要です！



具体的にどの様な症状に注意し、どう対処したらよいのかを予め聞いておきましょう。

11

## 副作用を防ぐには



- ・決められた用法・用量をきちんと守る
- ・自分の体質や病状・副作用の経験・服用中の薬のことなど多くの情報を医師へ伝えておく
- ・決められた検査をきちんと受ける
- ・注意すべき副作用の初期症状・対処法について説明を受けておく
- ・「何か変だ」と感じたら、すぐに医師・薬剤師等に相談する
- ・自分の服用する薬の知識をしっかりとつ

12

## 止めるときとは

- ・病気が治ったとき。
- ・病気が峠を越えたとき。
- ・効果が無くて、くすりを変えるとき。
- ・くすり以外の治療法に変わるとき。
- ・副作用が現れて中止するとき。

13

## 止めるときには

- ・医師の指示に従う。
- ・処方を受けるときに、止めるとき条件を確認しておく。
- ・短期間のくすりは症状が無くなれば中止できる。
- ・但し、抗生物質は医師の指示による。
- ・長期投与の薬は自分で止めないこと。

14

## たとえば

- ・かぜや急性胃腸炎は3日を過ぎれば止められる。
- ・膀胱炎や胆嚢炎では、症状が取れても薬を続ける必要がある。
- ・慢性の病気や生活習慣病の予防薬は、必ず医師に相談して止めること。
- ・症状のあるときだけ飲むくすりも、医師の説明をよく聞いておく。

15

## 残ったくすりは

- ・原則として処分する。
- ・保存して次に使用するとすれば、くすりを持参の上、必ず受診して、医師の了解を得る。
- ・他人には決して使用させてはならない。

16